

日商簿記 1 級&全経上級ダウンロード講座

【売価還元法と工事契約の会計処理】

収録日：平成 25 年 7 月 21 日
レジュメ改訂日：平成 26 年 1 月 4 日

【出題実績】

日商簿記 1 級商業簿記 過去問 114 回・125 回・129 回

<講座内で中央経済社のテキストを読んでもる部分は聞くだけで結構です

<サクッと受かる日商簿記 1 級 1 (純資産・損益会計編) 改訂六版 P182-191、276-297

<スッキリわかる日商簿記 1 級 I (損益会計編) 第 4 版 P37-48、166-184

<検定簿記講義 (商業簿記) H25 年版 P55~66

<検定簿記講義 (会計学) H25 年版 P67-73

売価還元法 (各テキスト記載の) 計算式は覚える必要ない。下記の BOX で計算できるようにすれば良いだけです

練習問題： 次の資料から、①売価還元原価法による期末商品評価額②売価還元低価法による期末商品評価額を求めなさい。() 内は原価

<期首商品 (70) 85 <当期商品仕入高 (1,850)

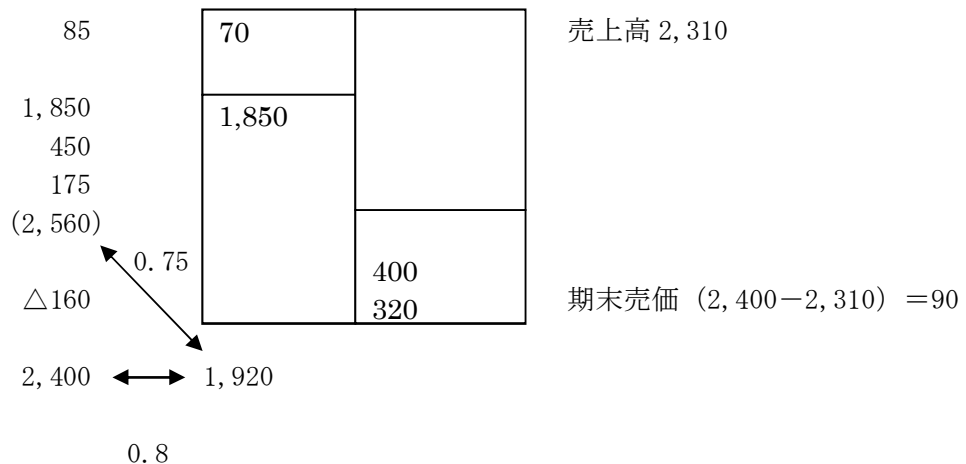
<原始値入額 450

<値上額 180 <値上取消額 5

<値下額 170 <値下取消額 10

<当期売上額 2,310

原価 BOX



① 原価 BOX の横に売価で記入し、借方合計で原価率を計算する

② 売価の帳簿残と実地残にそれぞれ原価率を乗じて原価を計算

棚卸し減耗や評価損ある時は以下の手順

③ 帳簿原価と実地原価の差を出して「棚卸減耗費」を算出

④ 実地価額と正味売却価額の差が商品評価損

過去問にチャレンジ

日商簿記 129 回を確認しましょう

仕入BOX

83,160	54,000	売原	売上高 1,735,560
1,150,000	1,150,000	販促	販売費 1,000 (※)
621,000		期末	期末売価 117,600
合計 1,854,160	1,204,000		合計 1,854,160

\longleftrightarrow
 0.64935 → 0.65

期末実地 113,600
 正味売却 100,000

※売価ベース：販売費 1,000 / 仕入 1,000

期末商品 $117,600 \times 0.65 = 76,440$

期末実地 $113,600 \times 0.65 = 73,840 < \text{正味売却 } 100,000 \quad \therefore \text{評価損なし}$

P 3 2 4 に仕訳出ていますと話していますが、皆さんがお持ちの過去問題集のページを参照して下さい

工事契約会計について

理論対策（成果の確実性の3要件→工事収益総額・工事原価総額・工事進捗度について、その見積もりに信頼性がある事）

はっきり押さえておこう

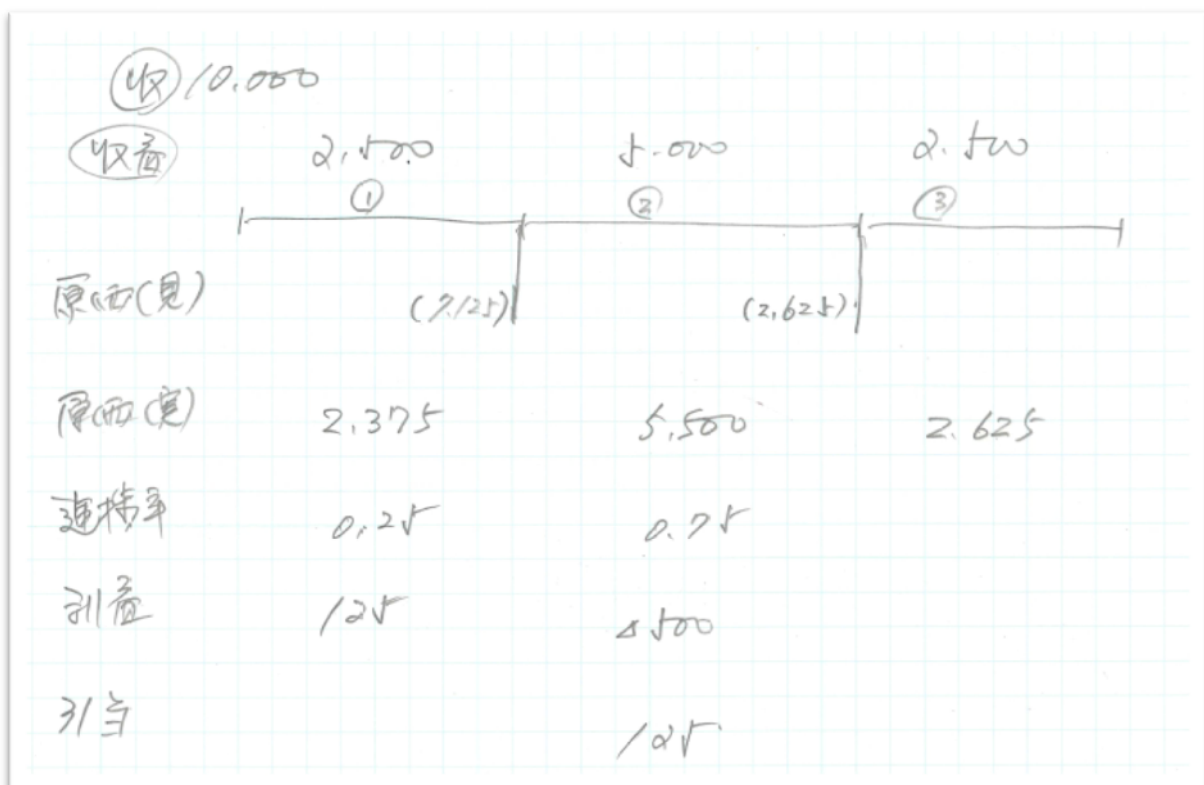
工事進捗度については原価比例法が用いられることが多い。

講座では中央経済社のテキストを読んでいます、上記のキーワードをお持ちのテキストで確認して下さい

練習問題

次の契約について×1年度、2年度、3年度の工事収益、工事原価、工事利益および工事損失引当金を工事進行基準（原価比例法）によって求めなさい。（端数は小数点2位以下切捨て、決算日は3/31）

工事契約情報（請負金額は10,000千円、施工開始日×1年度、完了日×3年度）
 工事実際発生額（×1年度2,375千円、×2年度5,500千円、×3年度2,625千円）
 工事原価見積額（×1年度末7,125千円、×2年度末2,625千円）



仕訳は講座の中で説明しています